

東日本大震災を経験された有識者による命の講話

震災の教訓と未来への備え

～避難所運営の教訓と災害発生後の課題と対応について～

令和5年11月25日（土）

13:00開場 13:30開演 15:30終演（予定）

会場：住吉区民センター小ホール

（南海高野線『沢ノ町』駅より東へ徒歩約5分）

講師 斎藤 幸男 先生

- ・311いのちを守る教育研修機構協力研究員
- ・元宮城県石巻西高等学校校長
- ・東北大学非常勤講師



2011年3月11日に東日本大震災が発生した際、宮城県石巻西高等学校の教頭として避難所運営にあたる。震災当時の石巻西高校は指定避難所ではなかったが、人道的な立場から教職員だけで44日間の避難所運営を行った。体育館が最大約700名の遺体仮安置所・検視所となるなか、校舎を開放して約400名の地域住民の避難生活を支援。その後2012年に同校校長になり、震災の教訓を語り継ぐ活動を通して「命と向き合う教育」の大切さを伝えている。

退職後も、全国各地での講演会や研修会、ワークショップなどを通じて、防災教育を切り口とした命の教育の大切さを広める活動を行なっている。

- 著書 『生かされて生きる～震災を語り継ぐ～』（河北出版）
『声なき声をつむぐ～震災を語り継ぐ～』（学事出版）

- 映画原案 『有り、触れた、未来』（2023年3月公開）

お申し込み

右のQRコードよりお申し込みください。

入場無料・前日（11月24日）までお申し込み可能です。

【参加申込フォーム】



問い合わせ先

06-6674-3612（墨江丘中学校 橋口）